

えんぼうしとうじゅうてん そ ち えんちよう
まん延防止等重点措置の 延長について

ねん がつ にち きんようび はっぴよう
2022年2月18日(金曜日) 発表

えんぼうしとうじゅうてん そ ち きんきゅうじたいせんげん で
※まん延防止等重点措置…緊急事態宣言が 出ないように するため

し まち ねが
に、市や 町ごとに お願いすること。

まん延防止等
重点措置

延長

3月6日(日)まで

くに ふくおかけん ふく どうふけん まんえんぼうしとうじゅうてん そ ち きかん
国は、福岡県を 含む 17道府県について、まん延防止等重点措置の 期間

がつ にち にちようび の
を、3月6日(日曜日)まで 延ばしました。

けんみん いま ねが がつ にち にちようび つづ
県民の みなさんは 今まで お願いしてきたことを 3月6日(日曜日)まで 続けて
ください。

やさしい日本語(JP)

えんぼうしとうじゅうてん そ ち おこな ちいき いま おな ふくおか
まん延防止等重点措置を 行う 地域については、 今までと 同じように 福岡

けんない すべ ちいき ふくおかけん ちいき ころなういるす
県内の 全ての 地域とします。 福岡県の ほとんどの 地域で コロナウイルスの

びょうき ひろ じょうきょう つづ
病気が 広がっている 状況が 続いているからです。

けんさ むりょう う
【PCR検査などを 無料で 受けることができること】

感染に不安を感じる県民の方

PCR等無料検査

3月6日(日)まで延長

わくちんせつしゅ ころなういるす びょうき
ワクチン接種を したかどうかに かかわらず、 コロナウイルスの 病気に なったか

ふあん かん むしょうじょう ひと がつ にち にちようび けんさ
どうか 不安を 感じる 無症状の 人は 3月6日(日曜日)まで、 PCR検査などを

むりょう う
無料で 受けることができます。

わくちんせつしゆ
【ワクチン接種をすること】

わくちん しちようそん けん せつしゆかいじよう いりようきかん せつしゆ かいめ
ワクチンは、市町村や 県の 接種会場、医療機関で 接種できます。3回目の

わくちんせつしゆ ころなういるす びようき よぼう こうか
ワクチン接種をすることで、コロナウイルスの 病気を 予防するという 効果を よく

かんが いま せつしゆ わくちん しゆるい かいめ
考えてください。今まで 接種した ワクチンの 種類に かわらず、3回目の

せつしゆ じぶん かんが
接種を 自分から すすんで 考えてください。

けん こういきせつしゆせんたー いま かしよ かいじよう のおがたかいじよう
県の 広域接種センターについて、今ある 3カ所(みやま会場、直方会場、

ゆくはしかいじよう くわ あたら はかたえき ちか せっち かんが
行橋会場)に 加えて、新しく 博多駅の 近くに 設置することを 考えています。

き し
決まったら またお知らせします。

びよういん ベッド かくほ)
【病院の ベッドを 確保することなど】

ころなういるす びようき ひと びよういん ベッド あたら こ
コロナウイルスの 病気に なった人のための 病院の ベッドを 新しく 6個

ふ ごうけい1558こ 1564こ
増やして、合計1,558個から 1,564個に なりました。

ころなういるす びようき ひと う い いりようきかん たいいん
コロナウイルスの 病気に なった人を 受け入れる 医療機関に、「退院するため

の 基準を 満たした人を 退院させること」や「後方支援病院(コロナウイルスの

びようき ていど かいふく ひと う い びよういん ていん
病気が ある程度 回復した人を 受け入れる 病院)へ 転院させること」、

たいいん きじゆん み まえ にゆういん にちめいこう いし にゆういん
「退院するための 基準を満たす前でも、入院して 4日目以降に 医師が 入院

ちりよう ひつよう けいしよう はんたん ひと はや たいいん
しながら 治療をする 必要がない 軽症だと 判断した 人を 早めに 退院させる

こと」を 自分から すすんで 行ってもらうとともに、 後方支援病院 への 転院を
すすめるための 新しい 仕組み(後方支援病院で 受け入れることが できるという
情報を 共有すること)を 2月16日(水曜日)から 行っているところです。

早めに 退院した人は、 医師や 看護師が 常にいる 宿泊療養施設へ 入ること
が 原則です。

高齢者施設に 入っている人が コロナウイルスの 病気になって、 施設の 中で
治療などをする場合の 支援として 国の 補助が 増えます。 高齢者施設の
管理者に このことを お知らせして、 これを 活用することで、 病院の ベッドが
足りなくなってしまう 状況を 防いでいきます。

【おわりに】

県民の みなさん、 事業者の みなさんには、 また負担を かけることになってし
まいました。 お互いを 守るということを 考えながら 行動して、 力を 合わせ
て、 これ以上 コロナウイルスの 病気を 広めないように しましょう。